

2025年3月31日

ニューホライズン キャピタル株式会社

PRI レポートリング 2024 において最高位評価を獲得、ESG をさらに推進

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）は、PRI*1の年次評価（PRI レポートリング 2024）において最高位となる「5 Stars Rating」を獲得いたしましたのでお知らせします。

PRI の年次評価は、ESG 投資に関する各署名機関の取組みの進展に対する評価として、世界的にも認知される重要なメルクマールとなっています。今回の評価では、NHC の投資活動領域である「プライベートエクイティ」また「コンフィデンス・ビルディング（信頼醸成措置）」において評価対象カテゴリーで最高評価を獲得、全体方針となる「ポリシー・ガバナンス・戦略」においても高評価となりました。

NHC は 2016 年 5 月に PRI に署名、当時唯一の、日本国内法人（機関投資家・金融機関等）のみを LP とする PRI 署名 PE ファンド運営会社（GP）となりました。ESG に先進的な海外機関投資家など外部からの要請の有無にかかわらず自発的に PRI 署名を行ったのは、意義ある投資を推進することこそが PE 投資における本源的な価値提供であるという NHC メンバーの設立来の強い信念とコミットメントによるものです。

NHC は設立来、大企業のみならず中堅中小企業への投資検討に際して、経済的意義だけでなく社会的意義についても確認をおこない、投資後の経営改善支援を通じて、各企業・事業の経済性のみならず社会性の向上についても支援・主導してまいりました。その取組み内容を責任投資報告書として LP 報告・共有するなど、殊に国内では意識されることの少なかった未上場・中堅中小企業の領域での ESG 分野の取組みを推進し、責任投資・ESG 概念の広がりに向けても努めてまいりました。

近年では「パーパス・プロジェクト」により「意義ある投資で新たな地平へ」をパーパスとして再定義し、その実現に向け 5 項目のフィロソフィー*2 を明確化、さらには「ESG プロジェクト」を実施し従前より行ってきた投資各フェーズにおける ESG 視点でのアプローチを取組み項目としてガイドライン化、またマテリアリティ*3 の特定・公表を行いました。現在は「ESG 室」を組成し、意義ある投資の実現・推進に向けて行動しています。

今回の高評価獲得は、こうした取組みを積み重ねてきた成果と考えております。気候変動をはじめとする社会的・地球的課題への取組みが急務となるなか、さらに組織として ESG 取組み機能の強化・充実を図り、「意義ある投資」を進め、投資先とともに思考し、社会全体の未来を拓くことに挑戦してまいります。

New
Horizon
Capital

*1 PRI: Principles for Responsible Investment（責任投資原則）の略。国連の提唱により 2006 年に制定、当初は UN PRI（国連責任投資原則）として浸透。環境・社会・ガバナンス（ESG）における諸課題を投資の意思決定プロセスに反映させること等を定めた原則。

*2 NHC Philosophy 5 項目: 社会全体の価値を考慮する、常に挑戦と変化を肯定する、意思と情熱を追求する、共に悩み共に走りつづける、より多くの人生に貢献

*3 NHC Materiality 5 項目: 産業の変化と成長を創造、持続可能な社会と暮らしを守る、美しい地球環境を残す、働きがいのある場の提供、ガバナンスの充実